

16. 主要死因別、死亡数および率

(昭和28年との比較)

順位	死 因 名	実 数			率 (人口10万対)		
		昭和29年	昭和28年	増減数	昭和29年	昭和28年	対28年比
1	中枢神経系の血管損傷およびその他の脳性麻痺	2,146	2,316	- 170	135.7	146.7	-11.0
2	精神病の記載のない老衰ならびに	1,533	1,701	- 168	96.9	107.8	-10.9
3	診断名不適當および不明の原因	1,497	1,683	- 191	94.6	106.9	-12.3
4	消化器系の疾患	1,312	1,353	- 41	82.9	85.7	- 2.8
5	悪性新生物(リンパ組織および造血組織の新生物を含む)	1,081	1,113	- 32	68.3	70.5	- 2.2
6	不慮の事故中毒および暴力	1,055	1,207	- 152	66.6	76.4	- 9.8
7	全 心 臓 疾 患	981	1,387	- 406	62.0	87.9	-25.9
8	呼 吸 器 系 の 疾 患	974	1,057	- 83	61.6	67.0	- 5.4
9	全 結 核	884	935	- 51	59.1	59.2	- 0.1
10	全新生児疾患および先天奇形	395	459	- 64	25.0	29.1	- 4.1
11	性 尿 器 系 の 疾 患	312	424	- 112	19.7	26.9	- 7.2
12	アレルギー性、内分泌系、物質代謝および栄養の疾患	206	284	- 78	13.0	18.0	- 5.0
13	赤 痢 (疫痢を含む)	95	143	- 48	6.0	9.1	- 3.1
14	ビールスによる疾患	92	125	- 33	5.8	7.9	- 2.1
15	中 枢 神 経 系 の 炎 症 性 疾 患	77	72	+ 5	4.9	4.6	+ 0.3
	そ の 他 の 中 枢 神 経 系 の 疾 患						

(注) 比率算出に用いた基礎人口は次のとおりである。

イ、昭和29年は、同年9月末日現在岐阜県推計人口(統苑No. 50参照)

ロ、昭和28年は、同年6月末日現在岐阜県推計人口(統苑No. 40参照)

資 料： 県 衛 生 部

17. 主要死因別、乳児死亡数および率

(昭和28年との比較)

順位	死 因 名	実 数			率 (出生1,000対)		
		昭和29年	昭和28年	増減数	昭和29年	昭和28年	対28年比
1	新 生 児 固 有 の 疾 患	691	709	- 18	22.1	21.3	+ 0.8
2	呼 吸 器 系 の 疾 患	270	399	- 129	8.6	12.0	- 3.4
3	消 化 器 系 の 疾 患	127	217	- 90	4.1	6.5	- 2.4
4	新 生 児 感 染 (新生児肺炎、新生児下痢を除く)	92	8	+ 84	2.9	0.2	+ 2.7
5	症 状 お よ び 診 断 名 不 適 当 の 状 態	55	54	+ 1	1.8	1.6	+ 0.2
6	先 天 奇 形	43	53	- 10	1.4	1.6	- 0.2
7	出生時の損傷、分娩後窒息および肺不全拡張	43	40	+ 3	1.4	1.2	+ 0.2
8	不 慮 の 事 故	30	36	- 6	1.0	1.1	- 0.1
9	ビールスによる疾患	25	46	- 21	0.8	1.4	- 0.6
10	百 日 咳	14	13	+ 1	0.4	0.4	—
11	破 傷 風	6	12	- 6	0.2	0.4	- 0.2
12	赤 痢 (疫痢を含む)	4	1	+ 3	0.1	0.0	+ 0.1
13	丹 毒	3	3	—	0.1	0.1	—
14	全 結 核	2	5	- 3	0.1	0.2	- 0.1
15	中 枢 神 経 の 疾 患	1	24	- 23	0.0	0.7	- 0.7

資 料： 県 衛 生 部